広報誌 オーズニュース第262号　　2026年11月1日発行

Ohnishi Neurological Center

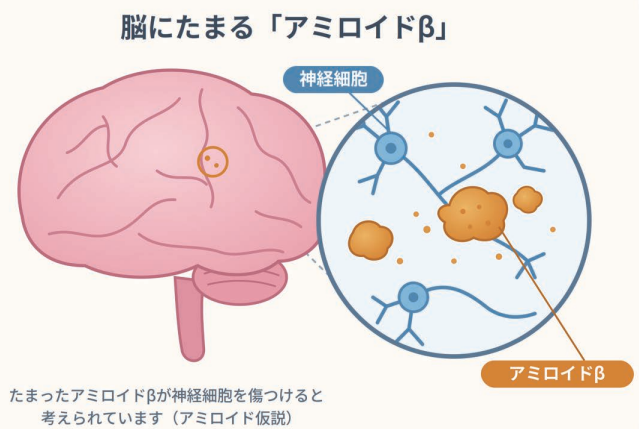
O's News 11 2026

「認知症」を正しく知る～診断・治療・予防の最新事情～

脳腫瘍・頭蓋底外科センター長　髙橋 賢吉

認知症は、65歳以上の方の8人に1人がかかるといわれる身近な病気です。原因として最も多いのはアルツハイマー病で全体の約7割を占め、次いで脳梗塞などによる血管性認知症が約2割、そのほかレビー小体型認知症などがあります。また、正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫のように、手術で良くなる認知症もあります。

アルツハイマー病は、アミロイドβというたんぱく質が脳にたまり、神経細胞を傷つけることで起こると考えられています（アミロイド仮説）。それだけでは説明できないことも多く、はっきりとした原因はまだわかっていません。



診断には、認知機能のテストと頭部MRI検査を行います。MRIでは脳の萎縮の具合をみるほか、手術で治る認知症や脳梗塞がないかも確認できます。アミロイドがたまっているかを調べるにはPET検査や髄液検査が必要ですが、PETは費用が高く、髄液検査は腰に針を刺すため体に負担がかかります。

アルツハイマー病と診断された場合、早い段階であれば新しい薬（レケンビ、ケサンラ）による治療を検討します。脳にたまったアミロイドを取り除く点滴薬で、レケンビは2週に1回、ケサンラは4週に1回投与します。ただし病気を止めたり治したりする薬ではなく、進行を遅らせる効果があります。脳のむくみや出血といった副作用もあり、定期的なMRI検査が必要です。薬代は1年半で400万円前後と高額で（高額療養費制度により自己負担には上限があります）、海外では費用に見合わないとして公的医療で使われていない国もあります。なお、今年9月にはレケンビの皮下注射薬が承認されました。自宅で注射できるため、今後は通院の負担が軽くなりそうです。以前からある飲み薬や貼り薬は安価で、症状をある程度和らげる効果があります。

予防については、高血圧や糖尿病の治療、禁煙、運動、難聴への対策、人との交流などで、認知症の4割ほどは防いだり遅らせたりできる可能性があると報告されています。バランスのよい食事や十分な睡眠も大切です。



認知症はまだわからないことの多い病気で、長生きすれば誰にでも起こりうるものです。日ごろの生活習慣に気をつけながら、もの忘れが気になるときは早めに受診し、MRI検査を受けてください。

脳卒中病院で関節を治療する目的とは?

総合リハビリテーション科　理学療法科　副科長　牧野 裕一

「関節の動きが悪くなると、どんな症状が生じるの?」

関節の動きが悪くなると、痛みやしびれ、感覚の変化など、さまざまな症状が現れることがあります。また、起き上がりや歩行など、日常生活に必要な動作が行いにくくなることもあります。これらの症状は、脳梗塞や脳出血によって生じる症状と似ている場合もあります。

関節ファシリテーションは、関節が本来の動きを取り戻せるように働きかける治療技術です。脳梗塞や脳出血そのものを治療するのではなく、まず関節の動きを整えてから、筋力や心肺機能に対する運動療法を行うことで、動作が円滑になり、より良い身体の反応につながることがあります。



当院では、研修を修了した理学療法士・作業療法士が、入院直後から回復期、退院後の外来まで、さまざまな段階で関節ファシリテーションを活用しています。

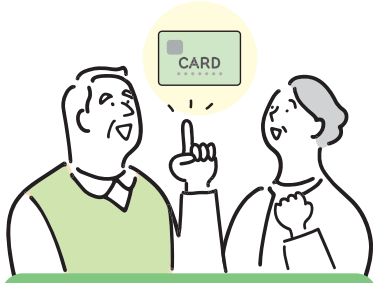
詳しくは、南館5階リハビリテーション室までお問い合わせください。

病院のお支払いをもっと快適に!

医事課 副課長　富士原 麻衣

外来診療後のお会計を待たずに帰宅できる後払い決済（クレジットカード決済）サービスを2026年４月から開始しました。定期的に当院へ通院される方が対象となりますが、当院公式ＬＩＮＥから事前登録を済ませていただき、受診受付時に後払い決済を選択していただくことで当日のお会計を待たずに帰宅することができます。当院公式LINEから簡単に登録ができますので是非ご利用ください。また当院公式LINEには、さまざまな便利な機能がありますのでお友だち登録をして是非ご活用ください。　※後払い決済をご利用いただけない場合もございます。





大西脳神経外科病院

公式LINE

日本の四季暦

二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo　秋吉 美穂子

＼11月（霜月）／

秋の気配の残る中、色付いた葉を冷たい木枯しが吹き、季節は冬へ。

霜降（そうこう）　十六節気

11/2〜6（五十四候）楓蔦黄／もみじつたきばむ

樹木の紅葉は最低気温が 7℃を下回るとはじまるといわれ、いよいよ美しい紅葉のはじまる頃。「経霜楓葉紅（霜を経て楓葉（ふうよう）紅（くれない）なり）」という禅語。楓が霜を経てまっ赤に色づくように、人も苦難を経験することで、深みを増し見事な人物になってゆくという意味。



立冬（りっとう）　十七節気

11/7〜11（五十五候）山茶始開／つばきはじめてひらく

花の彩りが少なくなるこの時期に赤いサザンカの花。そしてこれから収穫時期を迎える「金柑」。江戸時代に中国から渡来、名前のとおり黄金色に輝く小さなかわいい実は、皮ごと生で食べられます（観賞用もあり）。ビタミン C が多く、古くから咳止め、風邪薬として用いられました。



11/12〜16（五十六候）地始凍／ちはじめてこおる

「夜の帳（とばり）とともに　降りてくる冷気で、霜柱や氷ができはじめる」朝のピンと張り詰めた空気は清々しいですね。子供の成長を祝う「七五三」。昔は乳幼児の生存率が低く、「七つ前は神のうち」という考え方がありました。7 才までは神に守られ現世に魂が定まっていないものとされました。

立冬―。この日から立春の前日までが「冬」です。



11/17〜21（五十七候）金盞香／きんせんかさく・きんせんこうばし

寒い季節の鍋物♪身体もあたたまり、栄養価も満点〜。その食材として欠かせない白菜。日本での歴史は意外にも浅いもの。1875 年東京で開かれた博覧会で、中国からの出品物として初めて紹介されました。栽培の工夫を重ね、普及したのは大正時代になってからのことだそうです。

小雪（しょうせつ）　十八節気

11/22〜26（五十八候）虹蔵不見／にじかくれてみえず

晩秋のこの時期、切り干し大根の仕込み、皮をむいた渋柿をつるす「柿すだれ」などが最盛期。寒風と日光、火の力で食材の水分を飛ばし、保存性を高めた「乾物」は先人の知恵の結晶です。野菜やキノコ、豆、フルーツ、魚介類…。風味と旨味がギュッと凝縮しています。



この時期に時々見られる「小春日和」♪お散歩に出かけましょう。

11/27〜12/1（五十九候）朔風払葉／きたかぜこのはをはらう

北風（朔風）により葉の落ちた木々「冬木立」の頃。11月30日は「本みりんの日」。本みりんは焼酎や米こうじ、餅米を発酵させ絞ったアルコール度数の高い「お酒」。江戸時代初めには女性向けのお酒として流通しました。戦後、「みりん風調味料」として登場したものは、アルコールを含まず、「煮きる（アルコールをとばす）」必要がありません。



その1 しいたけのお話



美味しいしいたけ♪

「椎（しい）」の朽木に生えることから「椎茸」と呼ばれるように。一年中楽しめるようになったのは、湿度、温度管理された菌床（ブロック状のおがくず）で人工的に収穫が可能になった為です。原木栽培（クヌギ、ナラ）は、春・秋が収穫期、肉厚で風味、旨味は格別です。国産の乾（ほし）しいたけのほとんどは原木栽培。栽培期間は、菌床で 100〜120 日、原木栽培でおおむね2年で、長い期間を必要とするのですね。つづく(^^)

外来担当医表

〈血〉血管内治療　〈顔〉顔面の痛み・けいれん　〈FUS〉集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診【予約制】	午前	髙　橋〈顔〉	大 西(宏)	久　我	茶　谷	前　岡
	午後	髙　橋〈血〉	大 西(宏)〈血〉	久　我	茶　谷	前　岡
2診【予約制】	午前	祖父江	岡　本	ー	冨士井	山　本(健)
	午後	前　岡	岡　本	ー	吉　村	山　本(健)
3診 5診	午前	担当医	担当医	担当医	3診 佐　藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	3診 佐　藤	担当医
6診【予約制】	午前	ー	ー	ー	吉　村	担当医〈血〉／麻酔科 鈴木
	午後	脊髄外来山 本(慎)	脊髄外来山 本(慎)	脊髄外来山 本(慎)	平　林	脊髄外来山 本(慎)
7診【予約制】	午前	脳神経内科 石 田	ー	脳神経内科 赤 谷	てんかん 第4週 田 村	脳神経内科 第1·3週　阿　部 第2·4·5週 小坂田
	午後	脳神経内科 石 田	ー	ー	てんかん 第4週 田 村	脳神経内科 第1·3週　阿　部 第2·4·5週 小坂田〈FUS〉

※診察受付時間：月～金　<午前>8:30～11:30　<午後>13:30～16:30 ※毎週金曜日9:20～　6診 麻酔科 鈴木　（2026.11）

※第1·3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30　7診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.298

ささえ在宅クリニック

院長：高山 弘志

【認定資格・所属学会】内科学会認定医、消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医、在宅医療連合学会、日本緩和医療学会、緩和ケア研修会終了、難病指定医、医学博士

【診療科目】訪問診療、緩和ケア、内科、外科、消化器内科

【住　所】神戸市垂水区舞子台8-6-3-302

【電　話】078-798-7172

電話受付	月	火	水	木	金	土	日·祝
9:00～17:30	○	○	○	○	○	／	／

診療時間は9時～18時です。急変時の往診は24時間365日行っております。



高山院長からのメッセージ

明石市・神戸市（垂水区、西区）で訪問診療・緩和ケアを行っています。通院が難しい方の「住み慣れた場所で自分らしく暮らす」を、多職種とともに支えます。

No.299

にしもとクリニック

院長：西本 昌義

【診療科目】循環器内科、外科、リハビリテーション科

【住　所】神戸市西区井吹台北町2-17-12

【電　話】078-991-6001

診療時間	月	火	水	木	金	土	日·祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／
16:00～19:00	○	○	／	○	○	／	／

休診日：水曜・土曜午後、日曜、祝日

受付時間は診療時間終了の15分前までとなります。

リハビリテーション・点滴を希望される方は、診療終了時間の30分前までとなります。



西本院長からのメッセージ

当院の診療にご協力いただき、ありがとうございます。症状やお薬について気になる点がありましたら、遠慮なくお申し出ください。患者さまの状態に合わせて、最適な治療を継続できるよう努めてまいります。

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238／FAX:078-938-1236　mail info@onc.akashi.hyogo.jp　**https://www.onc.akashi.hyogo.jp/**

地域医療連携室 TEL:078-938-1288／FAX:078-938-0399

発行・編集責任者：理事長・院長　大西 宏之

公式LINE

ホームページ